



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 荒木康雄 幹事 向山賢悟 会報委員長 唐木 拓 第2990回 例会2023.5.25 No.1651



2022-23 年度 RI テーマ

IMAGINE ROTARY

ソング それでこそロータリー**会長談話** 荒木康雄会長

先週、日本では8年ぶりとなる「G7広島サミット」が開催されました。今回のサミットはG7首脳会議の他、各国首脳による広島平和公園や原爆記念館の訪問、グローバル サウスの各国首脳他を招待した拡大会議、そしてウクライナのジェレンスキー大統領の対面参加など歴史に残るサミットとなりました。サミットは会議の内容や宣言もさることながら、ワーキングディナーや夕食会に出される料理や飲み物が重要なおもてなしの要素を成します。食事でのおもてなしは世界的には地元の素材を使った料理を重要視し、それに合わせる飲み物も地元のものを用いるというのが流儀です。今回飲み物の監修はソムリエの田崎真也氏が行い、日本酒は勿論、シャンパンの代わりに酒のスパークリングや、その他のワインも全て日本産が使われました。日本酒は世界的に有名になってきていて輸出量が急増しています。今後はワインのように色々なタイプの日本酒が料理に合わせて飲まれるようになると思われます。

飲み物で近年、世界的に高く評価されているのが日本産ウイスキーで、今年国内初のウイスキー蒸留所が建設されてから100周年の節目に当たります。わずか100年の歴史で日本ウイスキーは「世界五大ウイスキー（スコットランド・アイルランド・アメリカ・カナダ・日本）」と呼ばれるようになり、国内に北海道から沖縄まで国内30か所以上の蒸留所があります。日本産ウイスキーの輸出額は10年前に40億円弱だったのが2021年には10倍強の461億円に急増



しています。何故日本のウイスキーの評価が高いかと言うと、日本列島は南北に長く明確な四季があるので、それぞれの気候や地形・水により、その風土を身にまとった個性的なウイスキーが蒸留されます。加えて樽による熟成への知見が深く、繊細な風味で口当たりが良くフルーティーかつバランスの取れたウイスキーが生まれます。日本のウイスキー蒸留所建設100周年を迎えた今、日本人の繊細な味覚とこだわりによって、ウイスキー・日本酒・焼酎それぞれが世界的な注目を浴びています。気候のいい季節を迎えています。旅行がてらに蒸留所や醸造所の見学ツアーに参加してみるのもいいかもしれません。

幹事報告 別紙をご覧ください**委員会報告****飯島松一職業・社会奉仕副委員長**

より、5月21日(日)の環境保全例会について、天候にも恵まれ、ケガもなく多数の参加者と共に無事開催できたとの報告がされた。



出席報告 会員数56名 内出席免除19名
 出席者29名 事前メールキャップ0名 出席69.04%

ニコニコボックス

- ・荒木康雄 RCクラブゴルフコンペにて2回目のホールインワンを達成しました。
- ・ゴルフ部

現・次期委員長引継ぎ、委員会反省会

食 事





役員



青少年奉仕委員会



クラブ会報、国際奉仕・財団委員会



親睦活動、職業・社会奉仕委員会



会員増強、情報・プログラム委員会



クラブ管理運営委員会